

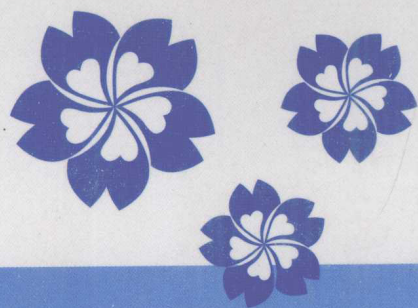


中日合作编写全新日语教材

新日本语

教程

高级
(2)



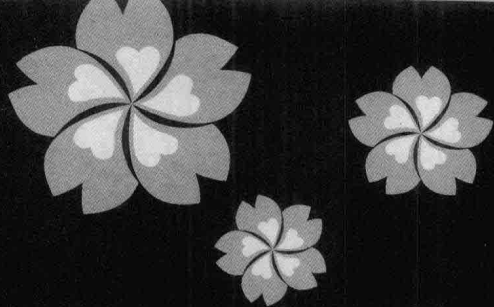
总主编 张厚泉 许小明
本册主编 艾 菁



人民教育出版社

し
ん
に
ほ
ん
ご



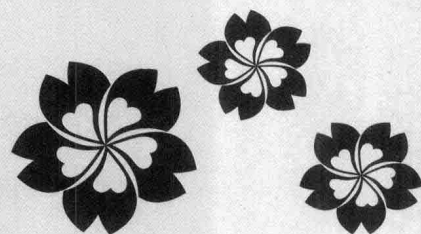


新日本语

教程

高级 (2)

总 主 编 张厚泉 许小明
副 主 编 稻本 麗香
本 册 主 编 艾 菁
本册副主编 重澤 倫子 王 蕾



し
ん
に
ほ
ん
ご



人民教育出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

新日本语教程. 高级. 第2册 / 外语研发中心编. —北京: 人民教育出版社, 2008
ISBN 978 - 7 - 107 - 21385 - 4

- I. 新…
- II. 外…
- III. 日语-教材
- IV. H36

中国版本图书馆CIP数据核字 (2008) 第169730号

人民教育出版社 出版发行

(北京市海淀区中关村南大街17号院1号楼 邮编: 100081)

网址: <http://www.pep.com.cn>

上海华文印刷厂印装 上海人教海文图书音像有限公司经销

2009年5月第1版 2009年5月第1次印刷

开本: 889毫米×1194毫米 1/16 印张: 19

字数: 351千字 印数: 0 001~8 000 册

ISBN 978 - 7 - 107 - 21385 - 4 定价: 39.50 元(含MP3光盘1张)
G · 14495

如发现印、装质量问题, 影响阅读, 请与印刷厂联系调换。

(联系地址: 上海市江杨南路702号 邮编: 200439)

随着中日交往与合作的日益紧密,“学习日本语”正逐步引领外语培训的新潮流。然而,放眼国内的日语培训界,日语培训学校至今还没有真正属于自己的通用教材。2007年,在新世界教育集团、上海海文音像出版社与东华大学外语学院的鼎力支持下,“外语教材研发中心”于沪上成立,其宗旨是开发真正适合外语培训学校使用的教材,以便为更多外语学习者服务。中心成立之后即与日本著名的百年学府拓殖大学携手合作,共同编写《新日本语教程》系列教材。

《新日本语教程》系列教材共计6册,涵盖了从初级到高级的各阶段学习内容。传统的日语教材强调学生的词汇、语法句型的背诵与理解,因而造成“会看不会说、会读听不懂”的普遍现状。《新日本语教程》初、中阶段的课程,不仅能让学生在轻松愉悦的氛围中扎实地掌握日语的各项基础知识,更能帮助他们“听与说”的能力得到同步提高,真正享受学习日语的快乐。而高级阶段的课程,为学员展现了一个现代又立体的日本社会,政治、经济、教育、文化的多角度了解,将为他们日后学习日语口译、BJT商务日语等高端课程做好充分的准备。

《新日本语教程》的出版与发行,得到了日语教育界多位前辈、学者的帮助与指正,在此特向各位致以最衷心的感谢。我们有理由相信,本系列教材的问世,会为广大热爱日语的朋友带来更广阔的视野,成为大家学习日语的良师益友!

新世界教育集团总裁 许伟

2009年3月

改革开放三十年来,尽管学习目的和动机发生了许多变化,但是,日语学习人数却一直在不断地增长。几乎所有的综合性大学和职业学校都开设了日语专业,几乎所有的城市都开办了日语培训学校。北京、上海、大连等城市的日语学习热潮带动了全国,《中日交流标准日本语》的问世也给全体日语自学爱好者带来了福音,而近年来的统计也表明中国已成为全世界报考日语能力考试人数最多的国家。然而,面对日益发展的社会需求,日语培训机构却至今尚未出现一套完整的、符合这一学习层次对象需要的教材,这对于广大日语学习者不得不说是—种遗憾。鉴于此,本“外语教材研发中心”在新世界教育集团、上海海文音像出版社与东华大学外语学院的鼎力支持下,与日本著名的百年学府拓殖大学“日语教育研究所”精诚协作,联合策划和编写了这套从初级、中级到高级的《新日本语教程》6册系列教材,不失时宜地填补了这一空白。

良好的教学质量和信誉是社会力量办学机构受到广大日语爱好者首肯的基础所在。《新日本语教程》系列教材的问世,将对社会培训机构的教学质量的稳定提供良好的保障,同时对教学的系统化和正规化起到推动作用。

《新日本语教程》是中日两国在第一线从事日语教学和研究的—所高校教师携手合作的成果。作为学习日语的系统教材,也可供中等职业学校以上及各大专院校的日语专业及非日语专业作为第二外语教材使用。

本套教材在内容编排上有—下几方面的特点:

1. 中日两国从事大学日语教学和研究的专家通力合作。

“外语教材研发中心”根据国内日语学习和培训的特点与要求,组织资深日语专家进行框架设计,拓殖大学“日语教育研究所”根据框架要求,组织中日专业教师倾力编写课文。中日双方互派专家多次召开编辑会议进行交流,共同探讨和处理编写过程中反馈上来的各种问题。语法项目和词汇的讲解由中方资深专家撰写,采纳了日本国内的日语教学中普遍采用的“日语教学语法”,吸收了最新的日语教学科研成果,从而保证了本书的质量。

2. 参照《日本语能力考试出题基准》,合理配置语法、句型、词汇等项目。

《日本语能力考试出题基准》是独立行政法人日本国际交流基金会和财团法人日本国际教育支援协会在对日本的主要日语教材进行比较、筛选,参考了部分思想文学作品、翻译作品和各种杂志、新闻报道等题材后联合编著的出题标准,对日本国内的日语学习爱好者(主要为母语非日语者)和从事日语教学的教师亦具有一定的指导作用。本教材根据中国日语学习者的特点,参照该出题基准,合理配置了初、中、高级教材的语法、句型、汉字、词汇等学习项目,旨在使学习者既能循序渐进地进行系统学习,又能在结束不同的学习阶段后,选择参加相应级别的日语能力考试以检验自己的学习成果。

针对日语词汇变动性较大的特点,本教材吸收了一些出题基准外的常用词汇,而对一些已经不常用的词汇作了筛选和甄别,使本教材更具时代性和实用性。

3. 初、中级注重语言的场景,高级注重语言文化和社会背景。

语言学习离不开场景和人物关系。传统的外语教材由于过分强调语法句型而忽视场景,造成许多学习者虽然学了很多句型和表达方式却不知道如何正确使用,会读、会考却不会开口交流的现象。因此,会话的情节和场景的设置,不仅是为了吸引读者、引人入胜、提高学习的趣味性,更重要的是为了达到让学习者明白所学的句型或表达形式是在什么场景下使用的这一目的,只有这样,学习者才能真正掌握好所学内容,达到最好的学习效果。同时,从扩大学生视野的角度出发,本书的高级教材也并不单纯追求文学素养,而是力图从政治、经济贸易、教育、环境、社会生活、科学技术、文化体育等各个角度为学习者呈现一个全方位的现代日本。

4. 丰富的插图有助于理解生活中的日语。

初级教材使用了丰富的插图,包括在日本各地拍摄的、具有浓厚生活气息的实景照片资料。这些资料在视觉上为读者提供了了解日本社会的窗口,配合与语法项目相关的各种日语表达方式,可以最大限度地发挥场景日语的教学优势,从而帮助学习者达到学以致用目的。

5. 配套的辅导教材和测试集。

本教材初、中级的练习题从巩固学习内容和增强会话能力的角度出发,意在使学习者通过反复操练,牢固掌握各课的语法、句型、词汇和表达形式等学习内容,从而达到对所学内容进行巩固和加强的目的。另外,为帮助大家巩固和检验各课的学习效果,本教材另有配套的辅导教材和练习测试集。

6. 与日本的对外日语教学界接轨,全面采用“日语教学语法”术语。

由于历史原因,我国的日语教学语法术语多还沿用日本国内的、以日本国民为教育对象的“学校语法”术语。随着日本对外日语教学的发展,日本国内已经形成了一套有别于“学校语法”的“日语教学语法”术语。“日语教学语法”无论从音韵还是词类分类,都更加直观地反映了现代日语的特征,在日本已经得到了广泛的支持和运用,取得了不可动摇的地位。鉴于国内的主要日语教材如《新版 中日交流标准日本语》(人民教育出版社)和《综合日语》(北京大学出版社)等已经率先使用了“日语教学语法”术语,因此,本教材参照中日两国日语教学的现状,全面使用“日语教学语法”的术语。

2008年5月,胡锦涛主席对日本进行了“暖春之旅”的友好访问,两国签署了《中日关于全面推进战略互惠关系的联合声明》,这表明中日关系进入了新一轮合作发展阶段,社会经济的发展对日语人才的需求也将持续增长,而要求亦会随之提高。相信本教材的问世会给广大日语学习爱好者带来更大的选择空间,并最终成为最佳选择之一。

张厚泉 2009年3日

于拓殖大学国际教育会馆

本书特点和使用说明(高级 2)

1. 《新日本语教程 高级》(全 2 册)是为已完成日语初、中级阶段学习、具有一定基础的日语学习者编写的教材。既可作为业余学习日语的精读教材,亦可用作大专院校日语专业的泛读教材。

2. 本书依照《日本语能力考试出题基准》编写,衔接 2 级核心语法、词汇,并基本覆盖了 1 级核心语言点。课文文体以说明文为主,阅读部分兼顾了会话体和散文体等工作、生活中较常用的文体。

3. 《新日本语教程 高级》(全 2 册)以现代日本社会为主题分 8 大单元,分别从日本的社会、经济、环境、教育、生活、科技、文化、体育等方面列举出 24 个主题,介绍了现代日本社会具有代表性的现象和问题,为学生理解现代日本提供了较丰富的信息和素材。

4. 《新日本语教程 高级》(第 2 册)共分“经济和产业”“教育新课题”“社会生活”“科学与技术”4 大单元 12 课。每课由课文、说明(词汇、表现、文法)、练习构成。练习部分充分采纳新的题型模式,分层次、分梯度地为学生自主学习与教师课堂讲评提供材料和线索。

5. 考虑到学习者在高级阶段学习的重点将从“输入”逐步移向“输出”,对词汇、句型的掌握要从“识别”到“应用”,本书有针对性地编写了以主观题为主的练习,并提示出每一课的“必修词汇”,突出学习重点,便于学习者巩固、掌握核心知识。

6. 对于本书在语法解释部分的“接续方法”中所使用的术语,现做如下说明:

① “3 類動詞の語幹”是指除“する”“くる”以外的 3 类动词的词干。

② “マス形”是指动词接续“ます”的形式。

例:“歩く”的“マス形”是指“歩きます”。

③ “テ形”是指动词接续“て”的形式。

例:“歩く”的“テ形”是指“歩いて”。

④ “タ形”是指动词接续“た”的形式。

例:“歩く”的“タ形”是指“歩いた”。

⑤ “ナイ形”是指动词接续“ない”的形式。

例:“歩く”的“ナイ形”是指“歩かない”。

⑥ “イ形容詞(く)”是指“イ形容詞”接续“て”时,“て”之前的部分。

例:“美しい”的“イ形容詞(く)”是指“美しく”。

本书在编写过程中,得到了众多专家学者的鼓励和支持,他们对本书的编写进行了多方面的指导并提出了很多中肯的意见,在此深表谢意。本书选用的阅读素材得到了相关作者的慷慨授权,在此深表感谢。另外,复旦大学外语学院日语系 2006 级本科生试用本书并对教材的内容提出了建议和意见,在此一并致谢。

编者

2009. 3

● 第一单元

第 1 課 YOKOSO! JAPAN —おもてなしの心で—

日本欢迎你! —待客之心—

必修単語	4
表現	7
文法・文型	12
練習問題	14
新出単語	20

第 2 課 ものづくり日本 —現代に生きる老舗の知恵—

制造大国日本 —老字号智慧历久弥新—

必修単語	25
表現	28
文法・文型	31
練習問題	32
新出単語	38

第 3 課 地方再生 —人おこしあつての地域おこし—

振兴乡土 —人有活力家乡才有活力—

必修単語	46
表現	48
文法・文型	53
練習問題	55
新出単語	62

● 第二单元

第 4 課 「ゆとり教育」—理想と現実の間で—

“宽松式教育”—理想与现实之间—

必修単語	70
------------	----

表現	72
文法・文型	76
練習問題	77
新出単語	83
第5課 学校の意義 —さまざまな学びの形—	
学校的意义 —学习的各种形式—	
必修単語	89
表現	92
文法・文型	94
練習問題	96
新出単語	102
第6課 全入時代 —どう変わる日本の大学—	
“全入学时代” —日本的大学将何去何从—	
必修単語	107
表現	110
文法・文型	114
練習問題	116
新出単語	122

● 第三单元

第7課 携帯大国 —電波でつながる社会—	
手机大国 —电波连接起来的社会—	
必修単語	130
表現	132
文法・文型	135
練習問題	136
新出単語	142
第8課 ペットの家族化 —人とペットの共生—	
宠物的家庭成员化 —人与宠物的共生—	
必修単語	146
表現	148

文法・文型	153
練習問題	154
新出単語	160

第9課 災害を生きる ―地震に立ち向かって―

在灾害中生存 ―直面地震―

必修単語	165
表現	168
文法・文型	171
練習問題	173
新出単語	179

● 第四单元

第10課 ロボット ―人間が造った人間―

机器人 ―人造人―

必修単語	186
表現	189
文法・文型	192
練習問題	193
新出単語	200

第11課 エネルギー開発 ―脱石油化への試み―

能源开发 ―无石油化的努力―

必修単語	205
表現	207
文法・文型	210
練習問題	211
新出単語	217

第12課 万能細胞 ―神の領域へ挑む―

万能细胞 ―挑战神之领域―

必修単語	222
表現	224
文法・文型	227

練習問題	229
新出単語	235

● 附 录

课文译文	241
练习答案	251
句型索引	270
单词索引	272

地方再生 試行錯誤

つまもの 老舗

おもてなし

ものづくり

ようこそ

荒波を乗り越える

グローバル観光戦略

地域おこし 一味違う

輝きを放つ

一期一会

観光立国

モチベーション

第一單元

YOKOSO! JAPAN —おもてなしの心で—

2007年に訪日した外国人旅行者の数が834万9千人を記録し、史上初めて800万人の大台を越えた。これは前年比13.8%の増である。この快挙の一翼を担ったものとして「ビジット・ジャパン・キャンペーン」^(注1)の効果が考えられる。

2002年、国土交通省は外国人観光客の訪日を促進する「グローバル観光戦略」を発表した。当時、日本人の海外への旅行者が1600万人であるのに対して、日本を訪れる外国人旅行者は、その3分の1以下である約500万人に過ぎなかった。この格差をできるだけ是正しようという目的でこの戦略が発表された。

この文章のタイトルにある「YOKOSO! JAPAN」は、キャンペーンのロゴキャッチフレーズである。「ようこそ」はお客さんの訪問を喜び迎える時の言葉である。日本人が客を迎える時大切にするのは「もてなし」の心である。茶の湯の精神とも通じる日本のもてなしは、老舗旅館や高級ホテルはもちろん、暮らしの中にもあふれている。

もてなしの原点は「一期一会」の心であろう。これは茶道^(注2)の教えであり、二度とないこの瞬間の出会いを大切にしようという精神である。ある茶道家は次のように語る。

「この出会いは一期一会の縁とあって、そのぶん客が自然にリラックスできる場を作るように心を砕く。それがお茶のおもてなしの心です。」

日本のもてなしの心には、客の気まますを許す心がある。茶道で言うならば、茶室では客は常に正しい。どのようにお茶を飲もうが客の自由なのである。とはいえ、そこに生まれる互いを敬う気持ちが、客の節度をつくり、同時に日本のもてなしの質を高めてきたのである。

さて、日本のもてなしを体験したければ、伝統的な日本旅館に行くのが一番だろう。そこには日本の文化と真心を大切に作る伝統的なもてなしが、今もなお脈々と受け継がれている。「旅館のサービスは上げ膳据え膳が基本です。」とある老舗旅館の女将さんは言う。上げ膳据え膳とは、黙っていても食事が運ばれ、終わったら片付けてくれるという、旅館ならではのサービスを象徴している言葉である。なぜなら旅館は日々の雑事から解放され、すべてを「やってもらえる」場所だからである。今や日常から消えつつある、日本の生活様式や日本文化を大切にしているところが旅館である。「外国のお客様にも日本文化、おもてなしを体験していただきたいですね。」と女将さんは語る。だからといって、その型に嵌め込もうとはしない。それぞれの国の生活習慣や食べ物の好みを勉強し、あくまでもお客様主体のサービスを心がけているという。常にお客様一人一人に目を向け、何か必要なものがありそうだと感じればすぐに用意をする。しかし、やりすぎて押し付けになってもいけない。足りなくてもいけない。その配慮や見極めがきめこまやかなおもてなしの心なのだ。相手のことを第一に考え自身は裏方に徹する。



そのさりげなさにこそもてなしの真髓があるのかもしれない。

日々の暮らしの中にも「もてなし」や「思いやり」の心が隠されている。喫茶店や飲食店に入って席に着くと、水やお茶とともにまず差し出されるのが小さなタオルの「おしぼり」である。夏は濡らして冷たく、冬には温かくしたものが出される。客はこれで手を拭き、時には顔までぬぐう人もいる。さっぱりと、心安らぐひと時である。のみならず日本の電気製品や自動車も、利用者の便利さを追求した一つの形であると言えるだろう。

冒頭で触れたように、日本は観光業に力を入れている。観光を含めたサービス業は製造業と並ぶ日本経済の柱である。2005年の国内総生産501.4兆円において、サービス業は107.7兆円と21.5%を占める。これは製造業の21.0%を上回る数字である。さらに政府は2008年度「観光庁」^(注3)新設を決めた。外国人旅行者の誘致や、観光を柱とした地域再生^(注4)の取り組みなど、「観光立国」を推進する動きはこれまでもますます盛んになりそうである。「おもてなしの心」を忘れず、「来てよし、遊んでよし」さらには帰ってから「よし！ また行こう。」と思えるような真の「観光国」を目指して欲しい。

注 釈

(1) ビジット・ジャパン・キャンペーン 国土交通省が中心となって行っている、外国人旅行者の訪日促進活動である。実施本部が2003年4月1日に発足し、海外諸国での日本旅行の広報や、国内における外国人旅行者向きインフラ整備などを行っている。

(2) 茶道 茶の湯によって精神を修養し、交際礼法を究める道。室町時代に、村田珠光を祖とし、武野紹鷗を経て、千利休に至ってこれを大成、禅の精神を取り入れ、簡素静寂を本体とする侘茶をひろめた。1903年岡倉天心によって海外へ紹介され、「Tea Ceremony」として世界的に知られるようになる。

(3) 観光庁 「ビジット・ジャパン・キャンペーン」や観光による地域再生などの「観光立国」政策を強化するために、2008年に新設される官庁である。

(4) 地域再生 地域経済の活性化と地域雇用の創造を、地域の視点から積極的かつ総合的に推進する事業。平成15年に、内閣に「地域再生本部」が設置された。

必修単語

名詞：大台① 快挙① 戦略① キャンペーン③ ロゴ① キャッチフレーズ⑤ もてなし①
茶の湯① 老舗① 原点①/① 一期一会⑤ 瞬間① 節度① 上げ膳据え膳②-②
女将① 雑事① 押し付け① 見極め① 裏方① 真髓①/① サービス業④
柱① 国内総生産⑦

ナ形容詞：気まま① 便利①

イ形容詞：さりげない④

名詞/動詞 3：是正① 象徴① 解放① 追求① 冒頭① 新設①

動詞 1：敬う③ 受け継ぐ①/③ 差し出す③/① 濡らす① 心安らぐ

動詞 2：心がける⑤

名詞/副詞: 前年^{ぜんねん}① 真^{しん}①

副詞: 脈々^{みやくみやく}と①

慣用句: 心^{こころ}を砕^{くだ}く②+② 型^{かた}に嵌^はめ込^こむ②+②

連語: 一翼^{いちよく}を担^{にな}う①+② 二度^{にど}とない①+① 裏方^{うらかた}に徹^{てっ}する①+③

□ 単語の意味の確認

問題 1

【a 快挙^{かいきょ} b 格差^{げんてん} c 原点^{せつど} d 節度】

1. 人に迷惑をかけないように、言行などが度を超さず、適度であること。
2. 胸のすくような、すばらしい行為。痛快^{つうかい}な行動。
3. 資格・等級・価格などの違い。
4. 物事を考えるときの出発点。

(答え: 1. d 2. a 3. b 4. c)

問題 2

【a 主体^{うらかた} b 裏方^{おかみ} c 女将^{ぼうとう} d 冒頭^{はしら} e 柱】

1. 旅館・待合・料理屋などの女主人^に。
2. (比喩的に)たよりとなる人。根幹^{こんかん}となるもの。
3. 他に対して、意志、行動を及ぼすもの。
4. 文章・談話のはじめの部分。
5. 表立たず、陰で実質的な仕事を引き受け、すすめる人。

(答え: 1. c 2. e 3. a 4. d 5. b)

問題 3

【a キャンペーン b ロゴ c キャッチフレーズ d サービス】

1. 商売で、客をもてなすこと。また、顧客のためになされる種々の奉仕^{ほうし}。
2. 広告や宣伝で、感覚に訴えて、強い印象を与えるように工夫された短い文句。
3. 会社名・商品名などを独特の字体・デザインで発表したもの。
4. ある目的のもとに組織的に人々に働きかける活動。

(答え: 1. d 2. c 3. b 4. a)

問題 4

【a 思いやり b 見極め^{みきわ} c 取り組み d もてなし e 押し付け^{おしつけ}】

1. 心をこめて客の世話をすること。
2. 全力で物事にあたること。
3. 他人の身の上や心情に心を配ること。
4. 物の真偽^{しんぎ}を十分検討したうえで、判定すること。
5. もっぱらこちらの都合で、相手が望まないものを与える。

(答え: 1. d 2. c 3. a 4. b 5. e)

問題 5

【a 受け継ぐ b 差し出す c 心安らぐ d 上回る e 心がける f 触れる】

1. 言い及ぶ。言及する。
2. ある基準数量を超える。予定量以上になる。
3. 人に与えるために出す。提供する。
4. 前からあった物・仕事などを継承する。
5. 常に注意して努力する。
6. 安らかな気持ちになる。

(答え: 1. f 2. d 3. b 4. a 5. e 6. c)

□ 動詞の使い方の確認

下線に適切な格助詞を記入して下さい。

1. 観測史上、最高気温 _____ 記録した。
2. 客 _____ 手料理 _____ もてなす。
3. 赤い薔薇は「愛」 _____ 象徴している。
4. 家電製品の普及はある程度主婦たち _____ 家事 _____ 解放した。
5. 雨かもしれないから、雨具 _____ 用意して行ったほうがいい。
6. 自分の意見 _____ 他人 _____ 押し付けるのはよくない。
7. 交通渋滞の可能性 _____ 考慮して1時間早くホテル _____ 出た。
8. 工事にあたっては、安全第一 _____ 徹する。
9. 小学校低学年では理科と社会科のかわりに生活科 _____ 新設された。
10. 一連の優遇政策でハイテク産業 _____ 誘致する。
11. 先代 _____ 受け継いだ家業をつぶすわけにはいかない。
12. 彼は握手を求め、私 _____ 手 _____ 差し出した。
13. 森と緑と田園風景 _____ 心安らぐ旅に出たい。
14. 彼は自己最高記録 _____ 1.5秒上回る記録 _____ 優勝した。
15. 健康を保つためには、適度の運動とバランスのとれた食生活 _____ 心がけることだ。
16. 例の話題 _____ は触れないほうがよからう。

(答え: 1. を 2. を, で 3. を 4. を, から 5. を 6. を, に 7. を, を 8. に 9. が 10. を 11. から 12. に, を 13. に 14. を, で 15. に 16. に)

表現

□ キーワード

● 格差

♪ 名詞。資格・等級・価格などの違いや差。「差」の改まった言い方である。「～が生じる」「～が拡大